

第 314 回広島眼科症例検討会

2026 年 9 月 10 日(木)

広島大学 凌雲棟

1：一般講演 19：00～20：00

座長：福戸敦彦（広島大）

1. 病期の異なる甲状腺眼症 2 例における眼球運動障害に対する
テプロツムマブの治療経験

津村 諒 小松香織 柴田沙矢加
吉川知子 坂口裕和（広島大）

2. 低い眼圧を目標とする症例に対するプリザーフロマイクロシャント
挿入術の有用性

馬場 脩（吉島）馬場太郎 岡田尚樹 廣瀬菊乃
坂口裕和 廣岡一行（広島大）

3. 硝子体手術中、脈絡膜灌流に移行した一例

廣田薫平 船越俊輔 三井優果 湯浅勇生（県立広島）

4. 当院における TECNIS PureSee の使用経験

山下裕子 世良有紗 田中文香（県立二葉の里）

5. 10 年以上経過観察できたオルソケラトロジー治療実績

前谷 悟（八丁堀眼科医院）

2：特別講演 20：00～21：00

座長：坂口裕和（広島大）

「炎症」でつながる眼疾患

～ 明日から実践できる診断・治療の考え方 ～

神戸大学大学院医学系研究科 外科系講座眼科学分野

講師 楠原 仙太郎 先生

世話人：広島大学大学院医系科学研究科

視覚病態学 教授 坂口 裕和